

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 23 年度第 3 回所沢市国民健康保険運営協議会			
開 催 日 時	平成 24 年 2 月 6 日 (月) 午後 1 時 30 分 ~			
開 催 場 所	高層棟 7 階 研修室			
出席者の氏名	16 名 (別紙委員出欠席表のとおり)			
欠席者の氏名	5 名 (別紙委員出欠席表のとおり)			
説明者の職・氏名				
議 題	(1) 総合健康診断検診料の助成について (2) 平成 24 年度所沢市国民健康保険特別会計当初予算 (案) について (3) その他			
会 議 資 料	1 - 1	人間ドック等の検診料・助成額		
	1 - 2	年度別 人間ドック助成件数等実績表		
	2 - 1	平成 2 4 年度所沢市国民健康保険特別会計当初予算 (案)		
	2 - 2	国保特別会計収支状況		
	2 - 3	被保険者数・世帯数の推移		
	3 - 1	特定健康診査・保健指導の進捗状況		
	3 - 2	主な制度改正等の状況		
担 当 部 課 名	市民経済部長	能登 則之	市民経済部次長	守谷 照雄
	国保年金課長	石川 幸一	国保年金課主幹	及川 利美
	国保年金課副主幹	中村 丈之	国保年金課副主幹	小暮 一雄
	国保年金課主査	木曾 高憲	国保年金課主査	田中 浩文
	国保年金課主任	一色 義直		
	市民経済部国保年金課 電話 2 9 9 8 - 9 1 3 1			

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）	1 / 3
（肥田埜会長挨拶）		
事 務 局 （ 及 川 主 幹 ）	「国民健康保険に関する規則（以下、規則）」第 4 条第 3 項に基づき、会議成立の報告。委員 21 名中 16 名出席。	
（規則第 4 条第 1 項に基づき、以下、進行は議長（肥田野会長）が行う。）		
（議長挨拶）		
事 務 局 （ 及 川 主 幹 ）	会議の公開・非公開、記録方式、確定方式等について、前回と同じ（公開、要約記録、発言者記載しない方式等）で良いか。	
（議長の確認により、委員からの異議なし）		
議 長	傍聴人有無の確認（傍聴人 1 名、議事の途中でさらに 2 名、計 3 名。）。 議題（ 1 ）「総合健康診断検診料の助成について」へ進行。	
事 務 局 （ 石 川 課 長 ）	議題（ 1 ）について、会議資料 1-1 及び 1-2 に基づき説明を行う。	
議 長	（各委員へ意見・質問等と呼び掛ける。）	
委 員	消費税が 5%から 8%と上昇する報道がされている。今後は、助成金について金額で表示するのか、補助率で表示するのか。	
事 務 局 （ 石 川 課 長 ）	検診料は条例で定められており、消費税が上昇した場合、検診料を定めた条例を改正することになると思われる。その改正に対応して、助成額についても改めて検討することになる。その際は、運営協議会に諮ることになる。 なお、今回の助成額については 3 月議会で平成 24 年度の予算案の一部として審議される。	
議 長	議題（ 2 ）「平成 24 年度所沢市国民健康保険当初予算（案）について」へ進行。	
事 務 局 （ 石 川 課 長 ）	議題（ 2 ）について会議資料 2-1、2-2 及び 2-3 に基づき説明を行う。	
議 長	（各委員へ意見・質問等と呼び掛ける。）	
委 員	所沢市の 75 歳以上の人口構成について教示していただきたい。 また、後期高齢者支援金がわずか 178 万円しか増額されていないが、この程度の増額見込みで良いのか。	

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）	2/3
事務局 （石川課長）	75歳以上の人口構成についての資料は手元にはないが、前期高齢と同様の傾向だと思われる。 178万円の増額については、現状ある情報の中で見積もったものであるが、場合によっては年度途中で補正することもあると考える。	
委員	23年度分で未納になってる税額について。その未納分を24年度の歳入分としてどのように見込んでいるのか。 また、要望として年齢別人口比率について（75歳以上の分を含めて）今後、参考資料として提供願いたい。	
事務局 （石川課長）	滞納繰越分の収納率を基に額を算出したものを、24年度の歳入として見込んでいる。22年度決算における収納率が11.69%であったことから、新年度についてもこれに近い数字で見込んでいる。なお、平成22年度決算時の現年度分の収納率は85.19%だった。	
委員	未回収分の税についての時効は何年か。	
事務局 （石川課長）	原則5年である。	
委員	保健事業費が前年より減額となっている。増額するべきではないのか。	
事務局 （石川課長）	平成23年度までは目標値を基に予算を作成していた。目標値になかなか届かない現状を踏まえ、24年度より実際の実施率に即して予算を編成した。	
委員	特定健康診査の見込み数の減について、具体的な数字を提示していただきたい。	
事務局 （石川課長）	24年度の特定健診受診率の目標値は、国は65%と提示している。当然それを目指すべきだが、24年度予算は現状に即して55%で積算した。	
委員	受診率については、人間ドック等の中から特定健診に関するデータを抽出し、受診率に含めるべきである。当市でも人間ドック等の受診実績を受診率に含めているのか。	
事務局 （石川課長）	人間ドック等の受診実績も特定健診受診率の中に算入している。 その他にもJAさんの健康診断の受診実績についても算入できないかを検討し、さらに受診率の向上を目指している。	
議長	この24年度当初予算案について了承するというところでよろしいか。	
（議長の確認により、委員からの異議はなかった）		

様式 2

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）	3/3
議 長	議題（3）「その他」へ進行。	
事 務 局 （石川課長）	議題（3）について会議資料 3-1 及び 3-2 に基づき説明を行う。	
議 長	（各委員へ意見・質問等と呼び掛ける。）	
委 員	<p>保健事業をもっと強化すべき。介護保険との関連で生活機能評価と いうのをやってきたが、予防介護の観点からその内容も若干変わると 言われている。特定健診は介護等の部署と連携すべき。</p> <p>がん検診についても受診率が低い。50%を目指すように国からも言 われている。無料クーポンなどで受診率を上げる工夫している。</p> <p>採血はいろいろなことが分かる。胃がん等の早期発見にも効果があ る。</p> <p>特定健診だけではなく、他の検診等と広く連携を取って医療費増に 歯止めをかけるよう努力を、保険者として続けてもらいたい。</p>	
事 務 局 （石川課長）	国保の特定健診だけを進めても、医療費抑制という目的を達成する ことはできない。他部署との連携が必要である。大腸がん検診等との 同時実施についても今後進めていきたい。	
議 長	（各委員へ意見・質問等と呼び掛ける。）	
（特に無し。全ての議事が終了する。）		
<澤田職務代理か ら閉会のことば>		
会長署名		

所沢市国民健康保険運営協議会委員出欠席者一覧

代表区分	氏名	2月6日
被保険者代表	木下 登美子	
被保険者代表	佐藤 京子	
被保険者代表	鹿島 正之助	
被保険者代表	諸星 賀津美	
被保険者代表	近山 明男	×
被保険者代表	中村 晋治	
保険医及び薬剤師代表	吉川 哲夫	×
保険医及び薬剤師代表	瀬戸 裕	
保険医及び薬剤師代表	横山 俊次	
保険医及び薬剤師代表	並里 まさ子	
保険医及び薬剤師代表	島田 和浩	
保険医及び薬剤師代表	齋藤 祐次	
公益代表	肥田埜 孝	
公益代表	澤田 イヨ子	
公益代表	岩淵 淑子	
公益代表	小澤 正明	×
公益代表	森田 仁	
公益代表	浅見 富美明	
被用者保険者代表	太田 了	×
被用者保険者代表	渡辺 光一	
被用者保険者代表	早川 正道	×

日時：平成24年2月6日(月)午後1時30分～

場所：市役所低層棟3階 全員協議会室

出席	16
欠席	5
全体	21

